**高校　地理総合　学習指導案県立愛川高校　2年生　対象**

**作成者：陳 乙萱　　編集者：戸沼 雄介**

**１．教材について**

教科書：高等学校新地理総合　　出版社：帝国書院

第2部　第１章　５節　頁：128～129　『なぜ、アメリカ産の牛肉は安いのだろうか』

**２．本教材の目標**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| **・アメリカの大規模農業は、フィードロットやセンターピポットなどの、それを可能とする農業技術により支えられているということを理解する。・年間降水量、月間気温分布などの統計資料を適切に読み取り、アメリカの農業の特徴を理解する。** | **・アメリカ合衆国の穀物大量生産の仕組みと、農業生産の様態（大規模農業、適地適作など）のつながりを見出し、説明をすることができる。・アメリカ合衆国の農業と、世界の人々の食生活や農業の関連を多面的・多角的に考察し、表現している。** | **・アメリカ産の農産品（牛肉）が安い理由について、他者との協働や提示された資料などを手がかりにしながら意欲的に追究しようとしている。** |

**３．本教材作成のねらい**

１）本教材が念頭に置く生徒の実態

本学級には外国にルーツを持つ生徒たちが所属している。該当生徒の日本語の能力については、話す・聞くは日常会話程度であり、読み書きの能力は十分ではない。特に漢字やカタカナにはふり仮名が必須である。他方、英語を読める生徒が多数である。好奇心が強く、授業内容を深く理解するための能力や知識を持っているが、日本語での学習に困難があるためか、授業や学校を休みがちであったり必ずしも学習に積極的になれない生徒もいる。

２）教材のねらい

　　アメリカは世界有数の農産物の生産・輸出国である。、その農業の１つの特徴が「大量生産」にあることをつかむために、導入段階で生徒たちに身近なスーパーで陳列されている食品を上げ、大豆やトウモロコシなどのアメリカ原産地が多いことと、肉の値段についてアメリカ産のほうが安いことを確認させたい。また、大規模農業と適地適作という二つの農業形態を踏まえ、アメリカ農業の大量生産の成立条件を考えさせたい。その際に、アメリカの降水量等の資料を用いて、地理的な図表を適切に読みとり、作物生産と自然環境の影響を結びつけて理解を深めたい。

このような学習を通じて、冒頭に考察した「アメリカ産の牛肉単価はなぜ日本と比べて安いのか」という問いについて、授業の終わりに再度考えることで、多面的・多角的に事象を捉えたうえで、その理解を深めていきたい。

**４．本教材の指導計画**

**１）目標**：

アメリカ産の牛肉が安い理由を、さまざまな農業生産様態の視点を中心としながら多面的・多角的に考察し、その仕組みを理解する。

**２）本時の指導計画（全2時間）**

　★授業を通じて、大きな声・はっきりした発声・わかりやすく丁寧に話すことを意識する。

　　また、必要に応じて、英語で言い換えを行う。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **時数** | **学習活動** | **教師の問いかけ・支援** | **評価** |
| **１** | **スーパーにあるさまざまなアメリカ産食材に注目させる*** **スイートコーンやきな粉に着目させ、その原産地などに注目させる。**
* **アメリカ産牛肉と日本産牛肉の値段の違いに着目させる。**

**【教材の中心発問】　　　なぜ、アメリカ産の牛肉は安いのだろうか。****・「牛の生産コスト」に関する資料を配付し、つながりそうなことを見出し、ワークシートに予想をたてる。** | **・必要に応じて、スライドを準備し、視覚的にアメリカ産品が多いことを理解できるようにする。****・この問題に答えるためには、どのような点から考えればよいかを問いかけ、問題解決の見通しを持たせる。****・必要に応じて、小グループで話し合いながら問いに対する予想をたてられるように声かけをする。** | **【主体】****テーマについて疑問を膨らませ、意欲的に関連性を見出そうとしている（観察）****【思・判・表】****資料から読み取ったことを踏まえ、問いについて自分なりの考えを持つ（WS）** |
| **２** | **前時に分かったことについて確認をする** **・ 必要に応じて生徒に発言を求めながら、前時に考えたことを確認する。****アメリカの農業形態についてその実態をつかむ****① 大規模農業の意味****② 自然環境と農業のかかわり****③ 農業技術（センターピポット方式・フィードロット）****アメリカ農業の特徴をまとめるとともに、なぜアメリカ産牛肉が安いのかについて説明する****・ これまでの学びをふまえつつ、アメリカ農業の特徴を多面的・多角的な視点からワークシートにまとめる。** | **・「牛の生産コスト」に関するスライドを投影する。****・スライドとワークシートを準備し、子どもの理解がしやすいように、丁寧に資料からわかることを読み取らせる。****・①については、とうもろこしの生産量が世界一の理由を考えることで、理解を促す。****・②については、身近な地域の降水量や日照時間、地図と比較をさせ、アメリカの自然的特徴を明らかにするようにする。****・周囲の人と話し合いながら、自分なりの言葉でまとめるように声かけする。** | **【思・判・表】****資料をもとにしながら、なぜそのような農業の生産方法になっているのか、その前提となる自然環境は何なのかなどについて、結び付けて考えている（観察）****【知・技】****アメリカの農業について、複数の視点から理解を深めている（WS）****問いについて、視点を結びつけながら説明をしている（WS）** |

**（ 補足　：　学習のポイント【獲得する知識の例】　 ）**

**① 大規模農業**

**例：「広大な土地と高度な農業技術・設備を伴い、大量の作物や畜産物を生産すること。」**

**※これにより、収量と利益を最大化しようとする。**

**②自然環境と農業のかかわり**

**例：「異なる自然環境の条件で、適切な作物を栽培することが行われている。」**

**※アメリカの自然環境に関する資料の読みとり**

**降雨量や気温の分布図から、コーンベルトや小麦ベルトの分布を解釈する。**

**農業生産に対する自然環境の影響に注目する。**

**③農業技術**

**センターピポッド方式**

**例：「乾燥地帯で大規模に農作物に散水する方法。パイプで地下水を汲み上げ、その周囲を回転するスプリンクラーで作物にまんべんなく水を散布する。従来の方法と比べて節水でき、土壌侵食も防げるため、大規模農業に適している。」**

**フィードロッド飼育場**

**例：「柵で囲まれた施設で、一度に大量の牛などを飼育すること。施設内には、濃厚飼料（草ではなく穀物であることを強調）の自動給餌装置や給水設備が設置され、裸地は柵で囲われ、家畜小屋もないため、省力的に大量の家畜を飼育することができる。」**